



NEWS RELEASE

2012年5月17日
株式会社デジタル・フロンティア

フランスの鬼才ヤン・クーネン監督（「ドーベルマン」「シャネル&ストラヴィンスキー」）が 初フル3DCGアニメーション映画『Windwalkers: Chronicles of the 34th Horde』を 日本の映像制作会社デジタル・フロンティアと共同製作！！

日本最大規模のCGプロダクション機能を持つ映像制作会社デジタル・フロンティア（本社：東京渋谷区、代表取締役社長：植木英則）が、フランスの制作会社フォージ・アニメーション（英語表記：FORGE ANIMATION、本社：エクス＝アン＝プロヴァンス、CEO：エルベ・トゥルイエ）並びにコンサルティング会社シブヤ・インターナショナル（本社：ニース、CEO：セドリック・ビスカイ）と、映画『Windwalkers: Chronicles of the 34th Horde』を共同製作することが発表されました。

2004年にフランスで発売されるや批評家に絶賛され、2006年のthe Grand Prix de L' Imaginaireを受賞したアラン・ダマジオの小説「La Horde du Contrevent」を完全フル3DCGアニメーション化。
日本トップクラスのCG技術を誇るデジタル・フロンティアがフランスの才能とコラボレーションし、今までにない全く新しい世界観を作り上げます。



http://forge-animation.com/?page_id=569

あらすじ

風が支配する世界。

人々は風の猛威に怯え、災害と戦いながら生きている。

「第34師団」は、風下の村で特殊訓練を受けた戦士たちの中から選抜された、23人の精銳部隊だ。

彼らの任務は徒歩で“究極の風上”＝アッパーリーチズを目指すこと。

そこは風の生まれる場所であり、唯一、世界を狂わせるこの風を止めることができる場所なのだ……。

原作/アラン・ダマジオ著「La Horde du Contrevent」

仏ラ・ヴォルト社刊。著者アラン・ダマジオの2冊目の作品であり、2006年Grand Prix de l' Imaginaireと2006年Le Prix imaginaires des Lycéensを受賞。フランス国内で熱狂的なファンを獲得してベストセラーとなり、2011年には文庫化もされた。また、ノルデ社よりイタリア語版も刊行されている。

- 「ここ数年フランスのSFに欠けていたエクリチュール、野心、奔放さ」[テレラマ、2005年5月]
- 「『La Horde du Contrevent』は傑作である」[ル・ Mond、2004年11月4日]
- 「実験的な世界観本、野心的で魅力的」[リベラシオン、2004年11月8日]
- ヴァージン書店の選ぶ100冊のカルト小説(2009年)
- リブロ社の「絶対に避けられない100冊の幻想作品傑作選」
- フナック・ガイドによる「絶対に避けて通れない50冊のSF選」
- カファール・コスマックの「理想の本棚のファンタジー傑作選20」

デジタル・フロンティア

CG制作を中心に、あらゆるジャンルの映像を企画から制作まで手掛けている映像制作会社です。お台場に所有するアジア最大級のキャプチャスタジオ「オパキス」には、VICON T-160 100台と音声同時収録可能なフェイシャルキャプチャスタジオを設置、また昨年より高速高解像度3Dスキャナーを導入し、スピーディかつハイクオリティなプロダクション業務を実現しています。日本以外にも、台湾・マレーシアに子会社を持ち、グローバルな展開を進めています。

ホームページ：<http://www.dfx.co.jp/>

オパキス PV：http://youtu.be/dtdq7rs_OMA

映画「Windwalkers」（ウィンドウォーカーズ）

原作：アラン・ダマジオ

脚本：メガリ・エレ

監督：ヤン・クーネン

（「ドーベルマン」「シャネル&ストラヴィンスキー」）

アートディレクション：マルク・キャロ

（「デリカテッセン」「ロスト・チルドレン」）



www.forge-animation.com



<http://www.shibuya-productions.com>



<http://www.dfx.co.jp>

本件に関するお問い合わせ先：

株式会社デジタル・フロンティア

東京都渋谷区桜丘町9-8KN 渋谷3ビル3F

広報担当者：呉（クレ）

TEL:03-6855-7821

Email: sari@dfx.co.jp

www.dfx.co.jp

以上